

# 海の博物館 企画展 & 夏のイベント

海の博物館 TEL 32-6006

## 企画展 魚がへ～んしん、かまぼこ参上!

会期 7月19日(土)～10月26日(日)

ところ 海の博物館 特別展示室

近年、骨が多い、調理に手間がかかるなどの理由から、魚食ばなれが進んでいます。やわらかく、加熱済みで成形されているかまぼこ・練り製品は、魚類を主原料とした立派な魚食であり、上記のような現代的ニーズに対応した、未来の食を考えるうえで重要なキーになると思われます。

本展では、記録上は平安時代までさかのぼる伝統的な魚食としてのかまぼこ（さつまあげ・竹輪など練り製品を基本的には「かまぼこ」と総称する）の歴史、加工方法、伊勢志摩のかまぼこ産業の今昔などを解説するとともに、まちづくり、無駄のない資源利用の観点から注目される、低利用魚を使ったかまぼこなどについても紹介します。

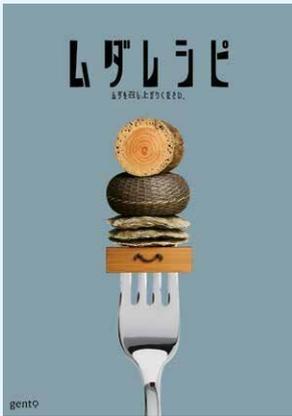


## 企画展

### 伊勢と東京を拠点に活動する gento design による企画展 「ムダレシピ～伊勢志摩の廃棄物をデザインで調理する」

会期 7月12日(土)～9月23日(火・祝) ところ 海の博物館ギャラリー

伊勢志摩の海・まち・山には、「ムダ」と呼ばれるモノが溢れています。空き家に眠っていた古材、使い古された漁具、食の副産物——。一見、役目を終え、行き場をなくしたそれらは、私たちにとって宝の山です。私たちは「ムダ」たちを、「ゴミ」や「廃棄物」としてではなく、デザイナーの視点で料理（再解釈・再編集）する“ムダレシピ”の材料として見つめ直しました。



## 7月の体験イベント

### 初企画 うみはくで陶芸体験 「魚を盛り付ける”平皿作り”」

とき 7月21日(月・祝)  
午前の部：午前10時～正午 午後の部：午後1時～3時

内容 多気町にあるアトリエプシケの坂口文香さんを講師に迎え、魚が美しく見えるような、平たいお皿を作ります。黒い粘土を手びねりでこねて、形を作ります。白い泥で絵を描いたり、粘土をひっ搔いて柄を描いたりして、素敵な器を作りましょう。



定員 各回15人(要予約) 参加費 4,500円(入館料込み)  
講師 坂口 文香 氏(アトリエプシケ)  
申込期限 7月18日(金)

※未就学のお子さんは、保護者のかたと一緒に参加できます(参加費、材料は1人分です)。  
※焼き上げ後、郵送を希望の場合は別途送料がかかります。

### ウミウシを探そう!

とき 7月12日(土) 午前11時～午後2時  
7月26日(土) 午前11時30分～午後2時30分

### 干潟の生きものを探せ!

とき 7月13日(日) 午前11時～午後1時30分  
7月27日(日) 正午～午後2時30分

定員 各日15～20人程度(要予約)  
参加費 小学生以上1,200円(入館料込み)

※低学年のお子さんは保護者のかたと参加してください。  
※未就学のお子さんは参加できません。

持ち物 濡れても良い靴、帽子、お弁当、水分など  
※開催時間が正午以降の場合はお弁当を食べてきてください。

